

⑧ブルーギル

ブルーギル (*Lepomis macrochirus*) サンフィッシュ科 原産地：北アメリカ

導入経緯：1960年に皇室が訪米の際の手みやげとして持ち帰ったものを水産庁の試験研究機関が全国各地の試験場へ分与したことが知られている。また、民間レベルでも各地で放流されたと考えられる。

生態：湖沼やため池、堀、公園の池などに生息し、湖では主に沿岸の水生植物帯に、河川では流れの緩やかな水草帯に生息する。魚卵、仔稚魚を好んで食べる。

【調査結果概要】

河川水辺の国勢調査結果、田んぼの生き物調査、レッドデータブックふくしま作成調査データ、福島県外来魚アンケート調査結果（平成 17 年度実施）、福島県野生動物保護サポーターによる目撃情報によると、県内の 25 市町村において確認されている。

阿武隈川、阿賀川流域を中心に、ほぼ県内全域の水域で確認記録がある。

文献調査によりブルーギルが確認された市町村

